第30号
平成24年9月

生涯学習の窓

富山大学地域連携推進機構　生涯学習部門ニュース

1. 北陸4大学連携まちなかセミナーが開催されます

北陸地区の国立大学が連携しておこなう「まちなかセミナー」が北陸3県各地で開催されます。今年度の富山会場のテーマは「放射線を知る－正しく恐れ、賢く使うために」です。福島第一原子力発電所の事故以来、放射線に対する関心がかなり高まってきています。本セミナーを通じて、放射線についての正しい理解を広める機会となればと思っております。多数のご参加をお待ちしております。

■日　時：平成24年10月20日㈯　14：00～16：30
■場　所：富山駅前ＣｉＣビル３Ｆ　学習室（富山市新富町１－２－３）
コーディネーター：近藤隆（富山大学大学院医学薬学研究部　教授）
講演①「低線量被ばくを考える－福島第一原発事故を受けて－」
松本英樹（福井大学高エネルギー医学研究センター　准教授）
講演②「福島第一原発事故－健康被害は起こるの？」
絹谷清剛（金沢大学医薬保健研究域医学系　教授）
※入場無料、事前申込みは不要です。

2. 公開講座とオープン・クラス

10月から、平成24年度後学期の公開講座とオープン・クラス（公開授業）がはじまります。以下、10月から始まる公開講座(http://www.life.u-toyama.ac.jp/koza/index.html)をご紹介いたします。

- 「心理学への招待（後篇）」
- 「ドイツ歌曲を歌おう！－ロマン派を中心に（その2）」
- 「ドイツ語講座中級Ⅰ」
- 「ヨーロッパの食文化を“味わう”part.2」
- 「とやま学－近世富山の史料を読む（後期）」
- 「大人のための小学校のものづくり」
- 「豊かな生活を支える現代化学」
- 「シニアからのＩＣＴ社会の楽しみ方」
- 「はじめてのワープロ＆表計算ソフト」
- 「ホームページをつくろう！」
- 「日本の文化・和菓子の魅力を探る」
- テラコッタ頭像制作
- テンペラ画
- 退職後の自分らしい生き方のためのケアウィル講座
- 富山のやくぜん　基礎から学んで日常に採り入れよう！理論から施膳まで
- 再生医学について考えてみよう。
- 未来の薬剤師大集合！！！

この他、外国の言語・文化に関する講座も多数開講いたします。ふるってご参加下さい。
オープン・クラス(http://www.life.u-toyama.ac.jp/openclass/index.html)については、約400科目の開講を予定していますので、ふるってご参加ください。

3. 高志の国文学館　文学講座

「高志の国文学館　文学講座」が開講いたします。郷土の歴史・文化を再発見し、後の世代の継承していくためのとりくみです。本学からの講師・テーマは以下の通りです。県内他大学の講師による講演も順次予定されていますので、ご参加ください。会場は、いずれも高志の国文学館（富山市舟橋南町2-22、電話076-431-5492）です。

	日　時	講師とテーマ
1	10／21(日)	**「越と王朝文化」** 鈴木　景二（富山大学人文学部・教授）
2	11／4(日)	**「ヘルン文庫」と「夏の日の夢」－八雲とチェンバレン－** 村井　文夫（富山大学人文学部・教授）
3	11／18(日)	**「森鷗外『舞姫』と現代日本」** 金子　幸代（富山大学人文学部・教授）

4. 熟議2012 in 富山大学「災害が起きたらどうする？」が開催されました。

去る平成24年7月7日(土)、富山県民会館にて、地域と共生する大学づくりのための全国縦断熟議「熟議2012　in　富山大学」が開催されました(主催：富山大学、文部科学省)。東日本大震災の教訓をふまえ、地域社会の重要課題の一つとして災害・防災対策を見つめ直し、その中で大学はどのような役割を果たすべきなのか、ということについて議論をおこないました。会場では８つのテーブルに分かれ、活発な意見交換がなされ、盛況のうちに終了となりました。ご参加いただきました皆さまには、厚くお礼申し上げます。





＝＝＝参加者の感想から＝＝＝

- 本日のように、災害について平常時から話し合う事や考えることが大切であることを身をもって感じた。これをやっている人とやっていない人はいざというときに差が出てくると思う。
- 自分を守り、家族を守ることが基本であることの認識を深めました。地域住民への防災意識を高めることが大切である。
- 防災をテーマにした熟議だったが、仕事柄地域活動を行う方々をお話する機会が多いので、学んだことを伝えていけたらいいと思う。

発行：富山大学地域連携推進機構　生涯学習部門/〒930-8555富山市五福3190/TEL076-445-6956/FAX076-445-6033